

# 第10回全日本学生フォーミュラ大会

# 参戦報告書

受賞：日本自動車工業会会長賞

主催：公益社団法人自動車技術会

会場：静岡県小笠山運動公園（エコパ）

開催期間：9月3日～9月7日



大会参戦報告書

チームHP: <http://mittech-racing.jp.org>

東京都市大学(旧 武蔵工業大学)

## 御指導・御支援して頂いたスポンサー様

アイピー技研株式会社  
 AVO/MoTeC Japan  
 NTN 株式会社  
 オスコ産業株式会社  
 快晴モトサイクル  
 株式会社 IDAJ  
 株式会社イワモト  
 株式会社キノクニエンタープライズ  
 株式会社桑原インターナショナル  
 株式会社ソケットセンター  
 株式会社東日製作所  
 株式会社ハイレックスコーポレーション  
 株式会社富士精密  
 株式会社ミノルインターナショナル  
 株式会社レーシングサービスワタナベ  
 京葉バンド株式会社  
 サイバネットシステム株式会社  
 スズキ株式会社  
 住友電装株式会社  
 帝国ピストンリング株式会社  
 東洋電業株式会社  
 日産自動車株式会社  
 日本軽金属株式会社  
 日本ユピカ株式会社  
 本田技研工業株式会社  
 有限会社北村工業  
 有限会社日研製作所  
 UDトラック株式会社

アルテック株式会社  
 エーモン工業株式会社  
 MSC Software  
 オリジナルプリントショップきりはりくらぶ  
 株式会社青木工業所  
 株式会社石川インキ  
 株式会社エフ・シー・シー  
 株式会社恭和  
 株式会社小山ガレージ  
 株式会社東京アールアンドデー  
 株式会社パイオラックス  
 株式会社不二製作所  
 株式会社ミスミ  
 株式会社リトル・ガレージ  
 協和工業株式会社  
 小原歯車工業株式会社  
 ジュニアモーターパーク クイック羽生  
 住鋳潤滑剤株式会社  
 ソリッドワークス・ジャパン株式会社  
 帝都ゴム株式会社  
 日軽金アクト株式会社  
 日信工業株式会社  
 日本発条株式会社  
 古河電池株式会社  
 マイスタークラブ  
 有限会社寺田製作所  
 ベアレーシングサービス (有限会社ベア)

※敬称略・五十音順

私たちは東京都市大学 世田谷キャンパス 10号館 2階 創成機械工房にて活動を行っております。その創成機械工房に車両製作に必要な工作機械はほぼすべて揃っており、それらを用いて加工を行っております。お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

スポンサーの皆様、学生の皆様、お待ちしております。

### 住所

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1  
東京都市大学工学部内燃機関工学研究室内 F-SAE チーム

### 連絡先

2013年度プロジェクトリーダー  
工学部 機械工学科 2年 柴田雅章  
E-mail: [g1111058@tcu.ac.jp](mailto:g1111058@tcu.ac.jp)

### チームホームページ

<http://mittech-racing.jp.org/>



# Total 13 / 82

## 10th Student Formula SAE Competition of Japan

# 静的審査

## - Static Event -

### デザイン審査 -9/4-

デザイン審査では、事前に提出するデザインレポートと、大会当日に発表するパネル発表の二種類の項目について評価されます。レポートでは「勝てる車両づくり」を中心に自分たちの設計をアピールし、大会当日のパネル発表では、今年度の新設計や、新たな技術の導入を主体として発表しました。練習した成果を存分に発揮しましたが、惜しくも結果が伴わず 38 位という形で終わってしまいました。今年度の結果を真摯に受け止め、来年度に生かしたいと思えます。

(2年 瀬下)



▲デザイン審査

### プレゼンテーション審査 -9/4-

プレゼンテーション審査は、「審査のコンセプトに沿い、会社の役員に車両の優れている事を確信させる」という仮想のもとで、自分達でどのように販売していくかを、その内容や発表態度を審査する競技です。今年度は、昨年度のプランを基本とし伝える事が出来なかった部分や、新たに載せるべき部分を補う形でスライドを作成していきました。審査直前まで改修を続ける状況となってしまいましたが、先輩方の多大なる協力により、無事発表を行う事が出来ました。

(3年 小林)



▲プレゼンテーション審査

### コスト審査 -9/4-

コスト審査では、事前に提出したレポート上での製作費の適当性と生産価格が評価され、大会当日は量産における製作工程の効率化を発表するリアルケースシナリオを行いました。審査の結果、図面での寸法記入漏れや組み立て工程の確からしさなどを指摘され、リアルケースシナリオでは 20 点満点を取れず、目標としていたコスト審査 1 位には大きく及びませんでした。23 位という悔しい結果となりましたが、今年が最もチーム一丸となってコスト審査に取り組めたと感じています。

(3年 関口)



▲コスト審査

## 第10回大会を終えて

東京都市大学は、総合得点 573.75 点、順位 13 位、「日本自動車工業会会長賞」(完走奨励賞)受賞という結果で第 10 回全日本学生フォーミュラ大会を終えました。様々な形でチームに関わり多大なる御支援をして下さったスポンサー様、先生方、保護者の皆様などには良い報告をすることが出来ませんでした。車両の完成が遅れてしまい、セッティングやドライバーの練習などが十分に行えなかった事が、大会の結果として顕著に現れ改めて大会の厳しさを感じたとともに、リーダーとして上手くメンバーをマネジメント出来ずにメンバーにも迷惑をかけてしまい悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、先輩方の協力や、諦めずに最後まで一緒に動いてくれたメンバーにより、全種目を完走することが出来ました。一年間チームを支えて下さった皆様、本当に有難うございました。次年度は良い結果がご報告できるようチーム一同頑張ります。今後とも MI-Tech Racing を宜しくお願い致します。

(3年 河原)



# 動的審査

## - Dynamic Event -

### 車検 -9/3,9/4-

今年度も、昨年度同様に事前車検を 3 日に受けることができました。今年度は車両完成が遅れ、必ずしも万全の状態では入りませんが、メンバーと OB が互いに指摘し合い出来る限りの車検対策を行って、技術車検に臨みました。いくつか細かな指摘項目はありましたが、無事一回で車検を通過することができました。ドライバーの脱出試験、排気騒音試験、車両を傾けて行うチルト試験、ブレーキ制動試験も、無事一回で通過することができ順調に大会をスタートすることができました。

(3年 太田)



▲技術車検

### アクセラレーション -9/5-

アクセラレーションは 75m の直線を走行し、その加速力を競う競技です。朝一番で走行し、一本目は確実にタイムを残すことを意識しました。更なるタイムアップを目指し二本目に望みましたが、発進は上手くいきませんが、シフトアップでロスがあり、一本目のタイムから若干劣り、結果 34 位となりました。

(3年 河原)



▲競技待機中

### スキッドパッド -9/5-

スキッドパッドは 8 の字コースを走行する旋回性能を競う競技です。本番では緊張の中、少しオーバーステア気味の車両をコントロールしながらも無事完走することができました。順位は 23 位となり、タイムはトップから大きく離され悔しい結果となってしまいましたが、この経験を次年度に活かしたいと思います。

(2年 松永)



▲競技を観戦するメンバー

### オートクロス -9/5-

オートクロスは直線やスラロームなどによる 808m の複合コースを走行し、一周の走行タイムで車両の総合性能を競う競技です。コースは年々テクニカルになり、今年も昨年よりコーナーの多いコースレイアウトとなりました。自分にとって初めての走行で、とても緊張しましたがパイロンタッチもせず無事完走することが出来、翌日のエンデュランスに繋げることが出来ました。

(3年 森元)



▲車両走行風景

## 大会結果

- アクセラレーション：34 位
- スキッドパッド：23 位
- オートクロス：30 位
- エンデュランス：12 位
- コスト：23 位
- デザイン：38 位
- プレゼンテーション：11 位

### エンデュランス -9/6-

エンデュランスはオートクロスのコースを延長し一周 907m のコースを二人で 10 周ずつ走行し、車両の総合性能と耐久性を競うものです。今回、この競技に参加するドライバーは二人とも初参加だったため、待機中は緊張や不安などに押し潰されそうでした。しかし、出走してしまうと両ドライバーともにエンデュランス競技に集中する事が出来ました。途中、冷却系トラブルによるタイムロスがあり、12 位と悔いの残る結果となってしまいましたが、無事完走する事が出来ました。

(3年 久光)